

令和7年度運輸安全マネジメントレビュー会議議事録

実施日時	令和8年3月23日(月) 13:00～14:30
実施場所	本社営業所
参加者	安全統括管理者: 代表取締役 渡辺敏也 統括運行管理者: 大森秀樹 運行管理者: 課長 高山和明

重点施策について
◎ 今年度は、負傷者の生じた大きな事故はなかったが、車両途中故障が1件発生した。軽微な接触も数件発生した。 ◎ 昨年に続き、輸送の安全の確保が最優先という意識を植え付ける。 ◎ 教育について、添乗指導を行う一方、引き続きドラレコデータの活用を推進する。また教育資料の充実の観点からEラーニングの導入の検討も行う。 ◎ デジタルタコグラフデータもより一層活用する。

目標について
◎ アルコール検出は0件であった。引き続き飲酒・酒気帯び運転の撲滅を強力に推進していく ◎ コンプライアンス意識の向上について、確実な一時停止、右左折時の一時停止・徐行など重点キャンペーンを行い引き続き励行していく。

指示・計画について
◎ 脳ドック受診の推進(来年度は3名) ◎ SASスクリーニング検査の実施と結果に対するフォローを行う ◎ 実技訓練、添乗指導の一層の充実。 ◎ 完全な一時停止の実施を励行させるキャンペーンを行う。

苦情について
◎ 苦情の発生はなし、引き続き苦情0を継続するよう接遇について教育を充実させていく。